

9月から始める丸わかり講座 1級技能検定の構造（制度設計）と合格者によるモデルロープレの解説

東京	2026 年 9 月 13 日(日)	9:30～16:30	会場:東京都産業貿易センター 浜松町館 JR 浜松町	受講料税込	会員・一般	12,000 円
特長	■ 技能検定の構造(制度設計) この講座では、「1 級技能士に必要なスキル」を厚労省がどのように捉え、試験でどのように評価しようとしているかを把握します。 そこから実技試験(論述・面接)に合格するために必要なスキルや知識を理解します。 面接試験の試験実施概要や評価区分に記載された内容を正しく理解し、それを実践することが試験合格の王道であり、近道です。 この講座は、合格に向けた勉強を始める受検者が「1 級指導者」の意味を正しく理解し、論述試験の解答と面接試験のロールプレイや口頭試問でどう対応すると合格できるのかを把握していただきます。どんな試験なのか分からずに受検している人が多いのが実情です ・2 級技能士と 1 級技能士に求められる役割が違うことから、2 級と 1 級検定では求められる能力が何かを理解できます。 ・1 級面接試験は黙って「傾聴」するだけでは合格しません。問題把握力と具体的展開力の「所要点」突破のために何をすべきかが理解できます。					
	■ 合格者によるモデルロープレと解説 実際の面談シーンを再現します。その再現には、試験実施概要の内容や評価区分に記載されたものが盛り込まれています。 どんな対応すれば、問題把握と加点されるか、具体的展開をどのように表現するかが分かります。 面接試験のロープレで、1 級合格者はどのようなパフォーマンスで表現しているかを理解し今後の学習にお役立てください。 					
前回の講座の受講者からのコメント。 ・話の流れよりも「関係の質」を重視していることに驚く ・受容・共感の深さがロープレの安定感を左右していると感じる ・試験官が“関係の変化”を見ていることに気づく（最初の緊張 → 安心感の醸成など） ・事例相談者の発話から「本質的なテーマ」を抽出する難しさを痛感した ・表面的な悩みと、背景にある本質的な課題の違いを理解するのは難しい						

